



公明こうべ

2024年
vol.2

発行：公明党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6-5-1

<http://www.kobe-komei.net>



全国初

高校生の市内通学定期・無料へ

市外通学にも無料を求める

市内在住の高校生が電車やバスで市内の高校等に通う場合、令和6年9月から通学定期代が無料となります。

一方で市外の高校に通う生徒は対象外となっているため、受験可能な市外の高校まで対象を広げるよう市長に求めました。

久元市長は、市内における年少人口の減少傾向が続き、中長期的には生徒の確保が難しくなる恐れがある中、大阪府の高校無償化にも触れつつ、子育て世帯の流出の危惧があることから、市内の多様な高校教育環境を維持することを目的とし、行政の守備範囲である市内の高校を対象にした。合わせて広域での子育て施策の対応を兵庫県に要望するとともに、市外への拡大については今後の検討課題したいと述べました。

通学先	～令和6年8月	令和6年9月～
市内	現行通り	全額補助
市外	現行通り	

●現行：年額14万4千円を超える通学定期代の2分の1を補助

■高校生定期の補助対象校
 高等学校(全日制・定時制・通信制)／高等専門学校／中等教育学校(後期課程)／専修学校(高等課程)／外国人学校

令和6年度の定例会市会(2月15日～3月26日)で予算案を審議し決定しました。公明党議員団が訴えてきた数多くの施策が反映されており、市会の論戦の中で高校生の市内通学定期の補助、市販薬の過剰摂取「オーバードーズ」対策など、より良い施策となるように取り組みました。

また、要望が強かった赤ちゃんへのウエルカムプレゼント、帯状疱疹ワクチン接種への助成や防犯カメラの増設など実現できた主な施策を紹介します。

オーバードーズとは

社会的孤立などで“辛い気持ちから解放されたい”とか“少しでも紛らわしたい”といった精神的な苦痛から逃れ、多幸感を得ることを目的に市販薬を大量に摂取すること

依存症家族プログラムとは

アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症からの回復には、周囲の依存症に関する正しい理解と関わり方が重要になることから、依存症当事者の家族に対して正しい知識や接し方などを学ぶプログラムを新たに令和6年度から実施することで、依存症で悩む家族への支援を強化するもの

現在、若い世代で市販薬の過剰摂取いわゆる「オーバードーズ」が蔓延し、深刻な社会問題になろうとしています。せき止めや風邪薬など市販薬といえども依存症化すると肝臓や腎臓の障害を起こし命に関わります。10代が乱用している薬物のうち市販薬の割合は、今や覚せい剤や大麻を上回り、「オーバードーズ」が原因と疑われる救急搬送が年々増加している状況です。そこで、若者に広がる「オーバードーズ」への対応を求めました。

小原副市長は、市販薬の適正販売について医薬品販売業者に対する指導及び、市のホームページの薬物乱用防止の項目に「オーバードーズ」の情報と市販薬による薬物依存への注意喚起や相談先を明記するなど市民に対する周知啓発に取り組む。また、精神保健福祉センターにおける思春期の若者に対する専門医相談にもつなげ、令和6年度から実施する「依存症家族プログラム」の中に追加して「オーバードーズ」に悩まれる方への支援にも取り組むと答弁しました。



東アジア初

世界パラ陸上を神戸で開催

公明党議員団が協力して推進してきた「神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会」が5月17日(金)～25日(土)の日程で東アジアで初めて神戸で開催されます。世界パラ陸上競技選手権大会は、国際パラリンピック委員会により創設された世界最高峰のパラ陸上競技大会です。神戸大会は2021年に開かれる予定がコロナ禍で2回延期され、ついに本年開催されます。

会場は「神戸総合運動公園ユニバー記念競技場」で、約100か国・地域の約1,300人の選手がトラック競技とフィールド競技に分かれ、171種目で熱戦が予定されています。公式チケットは2月7日から販売が開始されており前売り券はS席1,800円です。感動すること間違いなし。是非、現地で観戦してください。



■日程：2024年
5月17日(金)～25日(土)
 ■会場：神戸総合運動公園
ユニバー記念競技場



市政へのご意見・ご相談は下記の各区所属議員にお問い合わせ下さい。



東灘区

岩佐 健矢

TEL.080-7994-4645
iwasa.kenya@gmail.com



灘区

高瀬 勝也

TEL.080-6209-7704
takase.katsuya@gmail.com



中央区

萩原 泰三

TEL.080-7994-4627
hagiwara.taizo@gmail.com



兵庫区

菅野 吉記

TEL.080-6209-7711
yoshinori@sugayan.jp



北区

徳山 敏子

TEL.080-6209-7712
toshikotokuyama@gmail.com



北区

堂下 豊史

TEL.080-4363-9251
doshita.toyoji@gmail.com



長田区

坂口 有希子

TEL.080-7674-6456
sakaguchi.akiko2022@gmail.com



須磨区

門田 まゆみ

TEL.070-3182-6213
kadota.m.komei@gmail.com



垂水区

壬生 潤

TEL.080-6209-7707
mibuchi.jun@gmail.com



垂水区

細谷 典功

TEL.080-7674-6455
hosoya.kobe@gmail.com



西区

吉田 謙治

TEL.080-6209-7700
yoshida.kenji@gmail.com



西区

宮田 公子

TEL.080-7674-6451
kimikomiyata0120@gmail.com

全国初 市が民間新入社員に住宅手当を支給

市内に本社を置く、中小・中堅企業が従業員に住宅手当を支給している場合、市内在住で入社3年目までの若手社員(29歳以下)に対して、支給額の2分の1(上限1万円)を神戸市が追加支給します。

さらに、高齢化が進んでいる地域に居住の場合は3分の2(上限1.4万円)を支給し、中小・中堅企業の支援と若者の定住を促進します。



安心なまちへ防犯カメラを増増

子どもや女性に対する犯罪防止を主目的として、通学路や駅周辺などに市直営の防犯カメラを2500台設置してきました。

さらなる安心感の向上と犯罪の起きにくいまちづくりのため、3年かけて2500台の防犯カメラを増設し、合計5000台のカメラで市民の皆さまの安全を守ります。

また、地域カメラから直営への変更を積極的に推進し地域負担の軽減を図ります。



総点検 災害時の緊急輸送道路を確保

能登半島地震では道路の寸断によって救助の遅れや救援物資が届かないという問題が起きました。

阪神淡路大震災から30年を迎える本市は、災害時の迅速な対応と被災者の安全確保のためにも積極的に緊急輸送道路の確保に取り組めます。



自然の家でファミリーキャンプ

これまで学校・団体のみが利用可能であった、摩耶山にある自然の家が新たに生まれ変わりファミリーキャンプができるようになります。

周りには森林植物園や六甲山牧場などの自然の中で体験や活動ができる施設も豊富で立地は抜群。神戸の新たな人気スポットになることが期待されます。



湖畔・棧橋の夜間イメージ



神戸のサイクルツーリズムを推進

訪日外国人の観光スタイルが買い物主体の「モノ消費」から、体験型観光の「コト消費」へと変わってきています。市内での自転車を活用した観光地域づくりのため、サイクリングモデルルートをまとめた市ホームページの作成、そして広報を行うことになりました。

特に六甲山森林植物園ではマウンテンバイクが楽しめるルートを設置します。



北区に小児急病センター

急に子どもの具合が悪くなった時に利用できる神戸こども初期急病センター(中央区)や西部休日急病診療所(西区)に加え、新たに令和6年4月に済生会兵庫県病院内に「北部小児初期急病センター(仮称)」が開設します。

これで北部地域の小児の休日・夜間の初期救急医療が充実します。



出産祝いに37,000円相当をプレゼント

これまでの出産祝いプレゼント(初回10,000円相当)に加え、令和6年4月1日以降に新たに子どもが生まれた世帯には、月に1回(3,000円相当を9回)のおむつやミルクなどの育児用品を配達し、声掛けや支援情報の提供等を行う「こべっこウェルカム定期便」をはじめます。



带状疱疹ワクチン接種助成が開始

带状疱疹は、50歳を超すと発症率が高まり、ワクチンの接種で発症や重症化の予防が期待されています。

しかし、接種費用が高額であるため、接種したくてもできないとの声があり、令和6年度において50歳以上の方を対象とした助成が実現しました。

- 対象者 / 50歳以上(接種日現在)
- 所得制限 / なし
- 補助額 / 県・市とも2,000円 計4,000円
- 補助回数 / 1回(生ワクチン・不活化ワクチンいずれか)
- 実施日 / 令和6年4月開始



ユニバーサルデザインマップでバリアフリー情報が拡大

今年2月に公共施設のバリアフリー情報が本市ホームページの「神戸市バリアフリーマップ」において地図上で容易に検索できるようリニューアル。さらに、この夏を目指し、民間アプリを活用して利用者から情報を投稿していただくユーザ投稿型で民間施設のバリアフリー情報を収集し、公共施設だけでなく民間施設の情報をあわせた新たなユニバーサルデザインマップとして本市ホームページ上に掲載します。



ユニバーサルデザインマップとは

すべての人が安心して外出できるようにするために、例えば神戸市内における障がい者の方が利用できるユニバーサルデザインの配慮がなされた施設情報(バリアフリー情報)などを、インターネット上で地図として提供するもの

すべての人が安心して外出できるようにするために、例えば神戸市内における障がい者の方が利用できるユニバーサルデザインの配慮がなされた施設情報(バリアフリー情報)などを、インターネット上で地図として提供するもの

葬儀や納骨先などへの不安を解消

頼れる身寄りがいない低所得の高齢者に対して、自身の葬儀や納骨先などへの不安を解消するため、生前の葬儀予約・納骨予約の手続きを市が支援する「エンディングプランサポート」を実施します。





公明こうべ

2024年
vol.3

発行：公明党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6-5-1

<http://www.kobe-komei.net>

学童保育

夏休みだけの利用も可能に

市内20施設でモデル実施始める

ふだんは子どもの下校時までには仕事を終えている家庭でも夏休みは朝からこどもを置いて出ることになるため、夏休み期間中だけの学童保育の希望が多く寄せられています。少子化が大きな社会問題になる中、仕事と養育が両立できる仕組みがますます重要になっていることから「夏休みだけ学童保育」の取り組みを始めました。

受け入れ体制の充実を図る

一方受け入れる側では、人数が増えることに加え、新たに来るこどもたちの掌握、対応に手間がかかり安全性に不安が出ることなどの課題があります。したがって事前に十分な受け入れ体制の整備が不可欠です。

今年度では、まずスペースと定員に余裕のある児童館20か所でモデル実施を行うことにしました。この夏の実施を通して、安全な学童保育を進める上での具体的な課題を明らかにし、来年度以降、受け入れ体制の充実を図って夏休み期間中の学童保育の拡大を進めて参ります。



詳しくは
神戸市
夏休み期間限定の
学童保育



豊かな海を守る ～フルボ酸鉄の人工供給を提案～

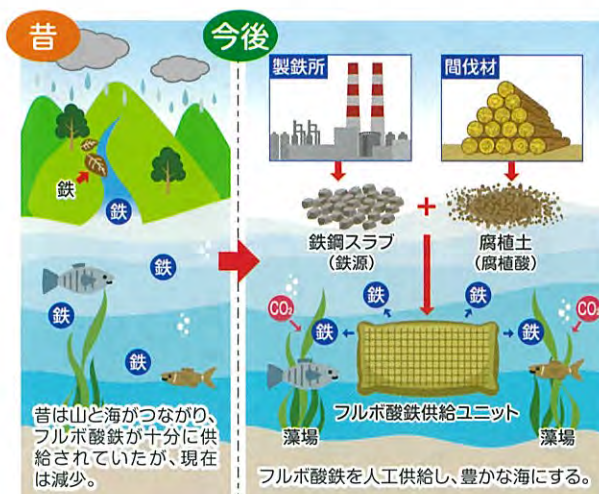
下水処理の高度化や河川工事で海中のリンや窒素さらに光合成に必要な鉄分も不足し、魚の産卵場所となる藻場や植物性プランクトンがなくなる「海底の砂漠化」が進んでいます。萩原泰三市議（工学博士）は光合成に必要な「フルボ酸鉄」供給を市に提案し神戸の海の生態系復活に取り組んでいます。

光合成を促進し藻場をつくる

これまでリンや窒素の供給は行われてきましたが、鉄分については対策が遅れています。もともと木々の落ち葉などと土中の鉄分とが結びついて「フルボ酸鉄」ができ、これが海に流れ鉄分を供給していました。ダムや河川の工事などで流れるフルボ酸鉄が減少しています。ゆえにこれを補うことが海を豊かにする重要な取り組みであり、海の生態系、神戸の漁業を守るために早急な取り組みを市当局に求めています。

地球温暖化対策にも有効

実際には、製鉄所から出る鉄鋼スラグと腐植土を混ぜて海に沈めることで



フルボ酸鉄を人工的に生成・供給ができ、すでに商品化もされています。この取り組みによって海藻の成長を促進し魚の産卵場所となる「藻場」が拡大され、漁業資源も豊かになります。さらに藻場は大気中のCO₂を吸収し地球温暖化防止にもつながります。

この政策提案に対し神戸市も具体策の研究を行うことになり、豊かな海再生の取り組みが始まります。

転炉系製鋼スラグ（Fe²⁺） 人工腐植土（腐植酸）

フルボ酸鉄供給ユニットのしくみ

※写真は水産庁HPから抜粋再編集

市政へのご意見・ご相談は下記の各区所属議員にお問い合わせ下さい。



東灘区

岩佐 健矢

TEL.080-7994-4645
iwasa.kenya@gmail.com



灘区

高瀬 勝也

TEL.080-6209-7704
takase.katsuya@gmail.com



中央区

萩原 泰三

TEL.080-7994-4627
hagiwara.taizo@gmail.com



兵庫区

菅野 吉記

TEL.080-6209-7711
yoshinori@sugayan.jp



北区

徳山 敏子

TEL.080-6209-7712
toshikotokuyama@gmail.com



北区

堂下 豊史

TEL.080-4363-9251
doshita.toyoji@gmail.com



長田区

坂口 有希子

TEL.080-7674-6456
sakaguchi.akiko2022@gmail.com



須磨区

門田 まゆみ

TEL.070-3182-6213
kadota.m.komei@gmail.com



垂水区

壬生 潤

TEL.080-6209-7707
mibujun@gmail.com



垂水区

細谷 典功

TEL.080-7674-6455
hosoya.kobe@gmail.com



西区

吉田 謙治

TEL.080-6209-7700
yoshida.kenji@gmail.com



西区

宮田 公子

TEL.080-7674-6451
kimikomiyata0120@gmail.com

命と健康を守る政策を実現

心停止から8分を過ぎると救命の可能性は低くなります。そこにAEDがあれば助かる命があります。市民の方からも高齢者が集う集会所にAEDの設置要望がありました。そこで公共施設、また、24時間利用可能な施設への設置を訴えました。

久元市長は、設置の少ない郊外には積極的に働きかける。小原副市長は、24時間営業のコンビニ等にも働きかけると答弁しました。

6月中に、市内の未設置であった集会所13か所への設置が完了しました。



公園遊具を使って夏バテ防止と健康増進

近年の健康志向の高まりや高齢人口の増加に伴って健康づくりの場を求める声が高まる中、利用頻度の高い身近な公園において若者から高齢者までが気軽に健康運動に取り組める遊具(ストレッチ系、トレーニング系、体力づくり用など)の設置を市内466公園にまで拡充しました。

引き続き、遊具等の更新時に公園利用者の求めに応じて健康遊具等の整備を進めていきます。



▲背伸ばしベンチ
▲上体伸ばし

公共施設や24時間利用可能な施設へAEDの設置を

保護者や地域の見守りの方から改善の要望も多く頂きます。そこでハード、ソフトの両面から子どもの安全を最優先にした改善を求めました。

福本教育長は「神戸市通学路交通安全プログラム」の見直しと「学校運営協議会」を活性化し、地域の皆様の意見を求めて対策すると表明しました。



子どもの命を守る通学路の安全対策の強化を

通学路の安全対策として横断歩道のカラー化や路側帯のグリーン塗装など対策が進められてきました。しかし、未だ解決されていない危険箇所が多くあります。

市民の足を守る! 「コミュニティ交通」の拡大に尽力

人口減少や運転手不足などで路線バスが「減便」や「廃止」になるなど、市民の「足」の確保が課題となっています。公明党議員団は、バスやタクシーの運営を定める「道路運送法」の規制緩和を進め、地域コミュニティで運行できるコミュニティ交通を増やすことに努めています。

規制緩和と補助金で進める



塩屋コミュニティバス「しおかぜ」

これまで地域のバス会社、タクシー会社の協力を得て北区の八多町、生野高原など市内9か所で本格運行し、4か所で試験運行を実施、北区大沢町など2か所で試験運行の検討を進めています。

また北区淡河町ではバスやタクシーの利用が難しいため、新たに「自家用車を使用した有償運送」の制度を設け、地域住民が自ら事業を行うことを実現しました。

そして安定した運営のために神戸市が運営費補助、車両購入補助を設けて支援しています。



神戸市が地域組織の立ち上げを支援

コミュニティ交通の導入は自治会など「地縁組織」が中心となります。しかし「地縁組織」がない場合、行政が支援する必要があります。久元市長は、市が主体的に出前トークや意見交換会などを開催し、コミュニティ交通の理解、事業の形態や地域の協力体制などを検討する地域の組織の立ち上げを支援していくと表明しました。



出前トーク開催

意見交換会開催

赤羽前国土交通大臣に支援拡大を陳情

このような地域コミュニティ交通の支援は、神戸市単独の補助金で中心で、国からの補助は神戸市全体でも200万円程度でした。今後ますます需要が高まるコミュ



ステッカー



ポスター

涼しいお店を活用して熱中症を防ぐ

猛暑の夏! 冷房のきいた店内で一時休憩してみませんか。薬局、コンビニ、郵便局など市内事業者のご協力により、涼しい空間を提供するKOBEクールオアシスがはじまりました。但し15分程度を目安としてご利用ください。

ポスター、ステッカーが貼られてる店舗が目印です。詳しくは「神戸ひんやりアクションスマートガイド 神戸市 熱中症対策サイト」をご覧ください。

神戸ひんやりアクション
スマートガイド
神戸市
熱中症対策サイト



国の補助拡大を赤羽前国土交通大臣(写真中央)と協議する堂下市議(右)と菅野市議(左)

ニティ交通を整備していくためには、国からの補助金拡大が必要です。

神戸市北区の生野高原ではこれまで神戸市が運行補助を行い「名塩・生野高原ふれあいタクシー」として本格運行していましたが、今年度この生野高原のような鉄道駅へ向かう「地域内フィーダー系統」補助の拡大を前国土交通大臣の赤羽一嘉衆議院議員に求めています。

赤羽衆議院議員は「コミュニティ交通の充実は人口減少対策としても、また鉄道などの公共交通機関を守る上でも重要。国として運行補助だけでなく、車両購入補助についても導入を図るよう頑張ります」と答えました。



公明こうべ

2025年
vol.1



発行：公明党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6-5-1
<http://www.kobe-komei.net>



震災から30年

“南海トラフ地震”に備える

南海トラフ地震で想定される津波への対策として、神戸市では、千年に一度の大規模な地震による津波（レベル2）を想定した対策を2023年3月に完了しました。



※本文にはユニバーサルデザインフォントを使用しています。

千年に一度の津波から 人とまちを守る防潮堤

本年は、阪神・淡路大震災から30年を迎えます。公明党市議員団は震災以降、災害に強いまちづくりを目指し、様々な施策を推進してきました。

以下、具体的な防災・減災対策の主な取り組みを紹介します。今後も市民の安全・安心を守り、南海トラフ地震に備えるため、更なる施策の強化に取り組んでまいります。

また、昨年の9月議会および11月議会を通じて、物価高から市民生活を守り、子育て・教育支援の充実を図るとともに、神戸空港の国際チャーター便の就航など、神戸経済の活性化を目指して訴えました。

「須磨海づり公園」が リニューアルオープン

神戸市立須磨海づり公園は、1976年の開園以来、約524万人の方に利用されてきましたが、2018年の台風被害により休園していました。

再開を求める多くの市民の声を頂き、このたび、釣台をはじめ、海を見ながらくつろげるテラスや地元海産物などの飲食、販売店やバーゴラ広場の新設など再整備が完了し、釣りをする人に限らず海を楽しんでいただける施設として、昨年11月1日にリニューアルオープンしました。



経済 神戸空港から 韓国・台湾・ベトナムへ飛ぶ

国際便に特化した「神戸空港第2ターミナル」が本年4月18日オープン。韓国・台湾・ベトナム便が就航します。

特に神戸空港から韓国の仁川空港には1日2便のチャーター便が就航するため、仁川空港を経由して39ヶ国111都市の世界に大きくつながります。また海外から多くのお客様に神戸を訪れて頂けると期待しています。

久元市長は「他にもいくつかの空港会社から引き合いがあり、国際空港としての大きな一歩を踏み出す」と発言されました。2030年前後には国際定期便就航を予定しています。



市政へのご意見・ご相談は下記の各区所属議員にお問い合わせ下さい。



東灘区

岩佐 健矢
TEL.080-7994-4645
iwasa.kenya@gmail.com



灘区

高瀬 勝也
TEL.080-6209-7704
takase.katsuya@gmail.com



中央区

萩原 泰三
TEL.080-7994-4627
hagiwara.taizo@gmail.com



兵庫区

菅野 吉記
TEL.080-6209-7711
yoshinori@sugayan.jp



北区

徳山 敏子
TEL.080-6209-7712
toshikotokuyama@gmail.com



北区

堂下 豊史
TEL.080-4363-9251
doshita.toyoji@gmail.com



長田区

坂口 有希子
TEL.080-7674-6456
sakaguchi.akiko2022@gmail.com



須磨区

門田 まゆみ
TEL.070-3182-6213
kadota.m.komei@gmail.com



垂水区

壬生 潤
TEL.080-6209-7707
mibujun@gmail.com



垂水区

細谷 典功
TEL.080-7674-6455
hosoya.kobe@gmail.com



西区

吉田 謙治
TEL.080-6209-7700
yoshida.kenji@gmail.com



西区

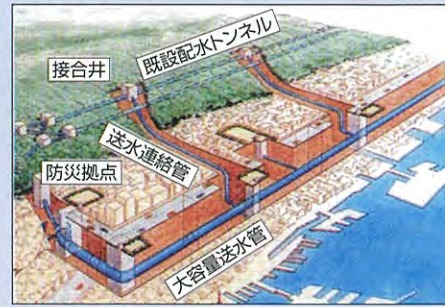
宮田 公子
TEL.080-7674-6451
kimikomiyata0120@gmail.com

防災・減災を前に進める

災害時にも水を確保 地震に強い「大容量送水管」

水道の復旧まで最大で3か月を要した阪神・淡路大震災を教訓に、従来からある六甲山中の2つの送水トンネルに加え、市街地の地下深くに高い耐震性と貯水機能を備えた「大容量送水管」を、震災後20年をかけて整備しました。

仮に大きな地震で水道施設が破損するようになると、150万市民が12日間使う分の水（1人1日3リットル換算）を確保し、他の貯水施設とあわせて26日間の水を確保できるようなっています。



【提供】神戸市水道局

どこに逃げたら良いか すぐ分かる

災害発生時や災害発生のおそれがある時に、最新の防災情報（気象・避難・避難所情報等）をまとめて分かりやすく提供するポータルサイトを「リアルタイム防災情報」を

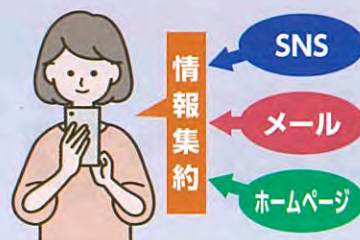


神戸市
リアルタイム
防災情報

「耳で聴くハザードマップ」 の運用を開始

視覚障がい者の方から、災害時の避難情報の入手が非常にむずかしいとの不安の声をお聞きしていました。

神戸市ではハザードマップの音声CDを配布したり、区役所で電話の問合せによる対応を行ってきましたが、スマートフォンアプリを用いて災害情報を音声で読み上げるサービス「耳で聴くハザードマップ」を導入し、視覚障がい者が避難情報を手に入れやすい環境を整備していくよう要望してきました。



2024年3月から提供を開始しました。これまで、様々なホームページやメール、SNSなどからそれぞれ発信されていた災害に関する情報などを「か所にまとめ、分かりやすく表示しています。天気予報や、交通機関・道路などの便利なリンク集も掲載していますので、災害時はこちら、普段から活用できます。

全国初 QRコードで帰宅困難者に滞在施設を案内

神戸市では災害時に発生する「帰宅困難者」に対し、駅などにQRコードを表示し、条件に応じて自動で一時滞在施設に迅速に案内します。

災害発生！電車がSTOP スマホで一時滞在施設へ

事前登録不要
どこでも誰でもログイン
インバウンド対応として
多言語切替機能を搭載
施設の入退所手続きも
スマホで簡単操作

施設の希望なし

特になし

避難に支援が必要

要支援者

小さい子供がいる

乳幼児家族

女性専用施設を希望

女性専用

海外から来ている

外国人の方

旅行で神戸に来ている

旅行者

子育て・教育 新たなしくみで 部活動を残す



中学校部活動の地域移行について、教育委員会は選肢が広がると説明していますが、具体的な内容は決まっていないうえ、運営費用は家庭負担となるため、経済的負担や安全面、活動時間に関する懸念が大きく保護者から不安の声が上がっています。

福本教育長は「保護者や子供たちの不安を理解し、具体的な情報発信する必要があり」と述べ、広報の強化や説明会の重要性を強調しました。



子育て・教育 学校給食の保護者 負担を増やさせない

長引く物価高により市民は多大な影響を受けています。中学校の全員給食も始まる中、経

済的負担が増えないよう食材費の高騰分に対する支援をし、現行の給食費維持のため、令和7年度も継続的に取り組むべきと質問しました。福本教育長は「精米が全国的に高騰しており、給食の精米も市場に連動した値上げが予想されるが、保護者の負担を増やすことなく、栄養バランスの取れた給食の提供が続けられるよう対応したい」と約束しました。



子育て・教育 子どもたちが気軽に 本に親しむ環境を整える

本市では、令和3年度より「こうべっ子読書活動推進プログラム」を実施し、子どもの読書活動の推進に取り組んでいます。親からは「子供が学校から本を持って帰ってくるのを嫌がる」、「仕事をしているので図書館に連れて



行けない」といった悩みも聞く中、子ども達が気軽に読書できる環境を整えるため、市立図書館と連携のうえ、市立小中学校及び高校の児童・生徒に対して、神戸市電子図書館のID付与を提案しました。

生活 65歳以下も認知症 検査に補助

近年、認知症への不安が大きくなっています。認知症の方やその家族が認知症と共に希望を持って暮らせる社会へという新しい認知症観や若年性認知症も神戸モデルの対象になることの広報に努める必要があると指摘しました。



久元市長は「認知症の方が住み慣れた地域で自分らしく暮らすために、認知症に対する正しい理解を促進するために当事者や家族の参画を得て対話しながら施策の立案を行っていく」、また小原副市長は「若い世代でも神戸モデルの対象にあることを今後さらに力を入れて周知していく」と答弁しました。



神戸市
認知症の人にやさしいまち
「神戸モデル」認知症診断助成制度
認知症神戸モデル特設サイト